

大天使エネルギーワークに関して（伝授ほか）

◆伝授に関する条件

伝授出来るのは、次の条件を全て満たす方になります。

ア) 伝授は、プロ・素人を問いませんが「意識次元 12 次元以上の者」に限定させて頂きます。

伝授のお申込みがあった時点で、意識レベルの計測をさせて頂きますのでご了承下さい。

（計測データに関しては、波動計測器や他での計測結果は採用致しません。）

イ) 創始者ユリアの審査をクリアした方。（天に確認します。）

ウ) エネルギー流入確認が必要になるため、ペンジュラム講習（60分 15,000円）を受けて頂きます。

◆伝授代金

伝授料 50,000円

◆伝授料に関して

伝授料ならびにヒーリング代金は全て、天からお聞きした適正価格での金額設定です。ここに書いている金額は厳守するようにして下さい。

◆第三者への伝授

ア) 創始者ユリアより伝授された者は、このエネルギーを第三者に許可なく伝授することは出来ません。

イ) 第三者に伝授する場合、あらかじめ創始者の許可を得ることが必要になります。創始者が第三者に遠隔伝授を行う形になります。

その場合の伝授料に関する取り決めは、下記の表の通りです。

伝授料 50,000 円の分配

創始者	紹介者（既にこの伝授を受けている方）
30,000 円	20,000 円

◆ヒーリングを施す際の留意点

大天使のエナジーワークに関しては受ける回数制限はありません。受けたいと思った時に受けて頂くことが出来ます。

ア) 鬱や精神疾患のある方への対応

大天使ワークに関しては鬱や精神疾患のある方に施しても特に問題はありませんが、ヒーリングは医療行為ではないことをしっかりと説明した上で、施すようにして下さい。

イ) 妊婦様への対応

妊婦様に関しては、ワーク後、万が一何らかの異常が見られた場合、その原因をエナジーワークに向けられる可能性が出てきます。 エネルギーワークは明確に因果関係についての証明ができないため妊婦様へのヒーリングは原則、行わないようにして下さい。

◆ [セルフヒーリング] および [ギフトヒーリング] に関して

大天使エナジーに関しては、プロの方と、素人様とではギフトヒーリングに関する取り決めが異なります。これは天が定めている事柄ですので、厳守するようにして下さい。

※プロの方とは、ユリアから伝授を受けられた後、「ミルキーウェイ エナジーワークシリーズ」を広めるため積極的にライトワーカーとして活動されているスピリチュアリスト様の事です。

【素人様の場合】・・・セルフ・ギフト（範囲限定）共にOKです。

素人様の場合、ご自身に行うセルフヒーリングおよび血縁者様（自分から見て配偶者、両親、子、甥、姪、叔父、叔母に限る）ギフトヒーリングは行っても良いと認められています。

大天使エネルギーに関してはヒーリング回数および受ける間隔に制限がございません。本人が希望された時、ギフトが必要であると感じた時に施し、ヘルプして差しあげて下さい。

【プロの方の場合】・・・セルフのみOKです。

プロの方は、ご自身に行うセルフヒーリングのみ行っても良いと認められています。

ご自身以外は、例えご家族様であったとしても対価を頂きなさい・・・と天から定められております。

ご家族様および血縁者様に施す場合、お一人につき **3,000 円** をワーク代金の対価と致します。本人様から対価を頂ければ良いのですが、ギフトの場合が多いことが予測されます。その場合、伝授を受けた者が一旦、その対価をご家族様の誰かに渡し、その後、そのお金を「〇〇のヒーリング代金」として、封筒に入れて受け取るようにして下さい。

このように、お金の流れを明確にすることで、等価交換が成されたと認識して下さいとのことです。もし、対価を受け取らずヒーリングを行った場合、エネルギーは流れませんのでご留意下さい。

◆霊気等人体を通す他のヒーリングとの併用に関して

このエネルギーワーク後に、一般的な人体を通すヒーリングを行ったとしても、効果の出方に影響はありません。

◆グループで行う場合

このワークは、グループで行う事が出来ます。その場合、一回の宣言に付き、「5名まで」まとめてエネルギーを流すことが出来ます。複数まとめて行った場合も、エネルギーの流入量に変わりはありません。1人に対して行っても、5人に対して行っても、エネルギー効果は同じです。

ヒーリング代金は、このマニュアルに書かれているグループ価格を遵守して下さい。

◆ワーク後の意識次元の計測確認について

大天使エネルギーでも意識次元が上昇するワークがあります。

ワーク後、次元確認が必要な場合は一件 500 円で確認させていただきます。

上記の件に関してご不明な点がございましたら、ユリアまでお問合せ下さいますようお願い致します。

2017. 1/31